九州大学学術情報リポジトリ
Kyushu University Institutional Repository

[003]臺灣演習林植物調査

初島, 住彦
九州帝国大学助手

https://doi.org/10.15017/14202

出版情報：九州帝国大学農学部演習林報告. 3, pp.1-257, 1933-06. 九州大学農学部附属演習林
バージョン：
権利関係：

(3) **カシ、シヒ = シダ群叢** { Quercus, Shiia — Diplazium, Pteris, Plagiogyria } Association

本群叢は海拔約六百米附近以上の高地の森林を占め、前記群叢に多かりしオホバタブ、ウライガシ、シマサルスベリ、フヂバシデ、タイワンオガタマノキ等は數を減ずると同時に生育惡しく、之等に代つてホソバシラカシ、タカサゴジヒ最も優勢になり、タイワンウラジロガシ、アラカシ、ツクバネガシ等の外ランダイニクケイ、ヤマツゲモドキ、アデク、ツゲモチ、モクコク等の樹木現はれる。林床植物は極めて疎にして、ヒロハノコギリシダ、トゲハチジヤウシダ、シマヤマソテツ、キジノヲ、タイワンヤマソテツ等多く、ムカゴシダ、タイワンヒメワラビ、アリサンワラビ等之に亞ぐ、之等の羊齒の間にはミヤヲサウ、フデガタツチトリモチ、タイワンシヤクジヤウバナ、シンテンアケボノサウ、アリサンアキ、ダンスゲ等の草本混生す。

着生植物、蔓性植物は極めて少く、着生植物としてはヒメゴシセウ、アヲガネシダ、コケシノブ類多く、蔓性植物は落葉性のマルバイハガラミ、クマヤナギ、ユヅリハアヂサイ等なり(詳細は前項高地森林の植相概說參照)。

(四) 主要喬木の臺灣島内に於ける水平的及垂直的分布

演習林產主要喬木の臺灣島内に於ける水平的及垂直的分布を示せば次の如し。

種名	北部	中部	南部
ヤマモモ	900米	900米	1,200米
フヂバシデ	1,800	2,100	1,500
ウライガシ	600	1,050	
イチヰガシ	1,800	1,500	
アラカシ	1,800	1,200	1,200
ホソバシラカシ	2,400	2,100	1,200
タカサゴジヒ	1,800	2,400	

タイワンチガタマノキ	1,800	2,100	
クスノキ	1,800	1,800	900
アツバクスノキ	1,200	1,200	
オホバタブ	1,500	1,800	900
タブノキ	900		
ウラジロアカメガシハ	1,500	1,200	
ホルトノキ	1,500	1,800	1,200
タイワンツバキ	1,500	2,100	
シマサルスベリ	1,500	1,500	
フカノキ	900	2,400	900
ハンノハエゴノキ	1,200	2,400	1,500
ウラジロエゴノキ	900	1,200	750

(五) 演習林内に於ける主要樹種

オホバタブ

Machilus Kusanoi Hayata

本種は臺灣特產の喬木にして演習林の海拔六百米附近以下の谷間の森林に最も多く樹高三十米內外、胸高直徑一米以上に達するもの稀ならず、材積より見ればウライガシ、タカサゴジヒと共に演習林內の三大主林木と稱し得べく、第七林班第四號腦寮附近には代表的の純林に近き森林を見得べし。

ウライガシ

Lithocarpus uraiana Hayata

臺灣特產の喬木にして樹高二十米內外胸高直徑一米以上に達するもの稀ならず、海拔七百米附近以下の演習林內各地に最も普通に見られ、一見タカサゴジヒに酷似するも殼斗は堅果全體を包まざるを以て一見區別し得べし。

タカサゴジヒ

Shiia stipitata Kudo et Masamune